

八戸商工会議所会頭賞

わたしの大切な野さいたち

八戸小学校 三年 宮重 結宇

わたしの家では今年、野さいの苗を植えました。ミニトマト、きゅうり、ナス。全部、わたしが好きな野さいです。

植えたばかりのころは、二十センチメートルくらいの大きさを元気がなかったもので、水をたくさんあげました。朝水をあげても、夕方になると、おこられてしょぼんとしているわたしまいにしなんとなくなってしまいます。だからわたしは、夕方にも水をやることにしました。ほかにも、わきめやかれ葉をとったり、ひりょうをあげたりしました。大きく育ってほしいなあと楽しみました。

七月になり、あつくなってきたころに、きゅうりとミニトマトは、わたしのせをおいこすくらいのおおきさになり、花もさきました。トマトは小さくて黄色い、お星様のような花です。きゅうりも黄色でトマトに比べているけれど、トマトの花より二倍くらい大きいです。ナスはあまりせはのびないけれど、えだと葉がたくさんふえて、むらさき色の花をさかせました。わたしはナスの花が大好きになりました。きれいなむらさき色を見ているとおちつくからです。わたしはお花をながめながら、早くナスのすあげを食べたいなあと思いました。

いよいよ実がなりました。太陽みたいになつかにそまつたミニトマトを一個とり、その場であらって食べました。少しかわはかたいけれど、あまずっぱくておいしかったです。きゅうりはぱりぱりしていて、みそマヨネーズにつけて食べるのさい高でした。やっと実つたナスもかわが少しかたかつたけれど、実はとろりとしていておいしかったです。まだまだたくさん花もさいているし、小さい実もなっているので、次のしゅうかくが楽しみでわくわくしました。

そんなある日のことです。ナスをしゅうかくした後、わたしはおどろきました。

「いたっ。」

手の先がちくつとしました。ナスのとげが手にささったのです。わたしは「ナスにとげがあつたなんて」とびっくりしました。そういえば、きゅうりにもとげがたくさんあります。ふしぎに思ったので調べると、鳥に実を食べられないようにするためだと書いてありました。野さいは自分で自分をまもっているんだなあ、すごいなあと感心しました。そして、前にトマトがカラスにえだごともしぎとられ、道路にちらばっていたことを思い出しました。そうか。トマトにはとげがないから、わたしがとげのかわりになつて、鳥からまもつてあげなきゃと思ひ、今までよりもしつかりお世話をするようになりました。

野さいを育てていると、わくわくしたり、うれしかったり、おいしかったりして楽しいです。

わきめをとることやとげのことなど、新しく知つたこともたくさんあります。今、ふしぎに思っていることは、「トマトのくきにできる、いぼみたいなのは何だろう」ということです。答えはまだ分からないけれど、また調べて、野さいのことをもっと知り、お世話を楽しみたいです。

「お水もひりょうもたつぷりあげるからね。」

その後わきめとかれ葉をとるからね。鳥さんは今日もきてないよ。安心して、おいしい実をたつぷり実らせてね。」